

G News

■ 松下電器より業界最高^{*1}の10億7千万色表現による高画質を実現した、番組スケジュール8日間対応Gガイド搭載のPDPテレビを発表



TH-42PA20

パナソニックマーケティング本部は5月22日、Gガイドを搭載したプログラムレッシュワイドプラズマテレビ、TH-42PA20とTH-37PA20を発表しました。発売開始は42V型が6月1日、37V型が7月1日。地上波テレビ番組ガイド(Gガイド)は、5チャンネル表示で8日間分の番組スケジュールを表示することができ、番組情報の一覧性の向上と内容の充実を図っています。また、同社製のDVDレコーダー^{*2}と接続し、番組の録画をすると番組タイトルを自動的に記録、再生時には内容がリスト表示されるので、番組探しに非常に便利です。また、新リアルガンマ技術(適応型階調制御技術)を採用し、業界最高^{*1}の10億7千万色の実現により、より多彩で深みのある映像を再現します。また、「2次元エンハンサー」でノイズを抑えながら、鮮鋭度を大幅に向上し、「ディープブラックフィルター」、「リアルブラック駆動方式」によりコントラストも向上しています。地上波チューナーをディスプレイユニットに一体化していながら薄さは9.9cmを実現、スペースをとらずに大画面で高画質を楽しむことができます。

^{*1}:2003年5月22日現在 ^{*2}:DMR-E50、E60、E70V、E80HIに対応

■ 商品についてのURL <http://panasonic.jp>

■ ソニーより地上波アナログ放送(Gガイド)とスカイパーフェクTV!の番組表が利用可能なくコクーン>チャンネルサーバー発表

ソニーマーケティング株式会社は、<コクーン>からチャンネルサーバー「CSV-P500」を5月8日に発表しました。発売開始は5月17日。地上波アナログ放送に加え、デジタルCSチューナー^{*3}と連動する機能を搭載することにより、スカイパーフェクTV!(スカパー)の番組表や番組情報を取得可能です。表示は、チャンネル別、時刻別、ジャンル別から選択でき、任意のキーワードを入力することによりユーザーのお好みの番組を素早く検索することができます。地上波アナログ専用の新機能として、録画予約した番組の前に野球やサッカーの放送が予定されている場合、自動的に録画終了時刻を延長する「野球延長対応」^{*4}と、放送時刻が不定期な番組でも、毎日更新される番組表情報をもとに、録画設定をした番組名を検索し、放送開始時刻や終了時刻に変更があれば、録画時刻を変更する「番組名予約」^{*4}があります。スカパー専用の新機能としては、膨大な番組の中でも、タイトル名を一度登録することで、放送の曜日や時間が不定期な場合も重複せず自動的に録画できる「シリーズ予約」^{*4}があります。「おまかせ・まる録」機能は、番組ジャンルおよび、サブジャンル、キーワードまたは時間帯を設定することで、ユーザーのお好みにあった番組検索とその自動録画を行います。160GBのハードディスクを搭載しており、最長録画時間は約110時間です。デザインは、コンパクトで、縦横両方の設置仕様となっています。

^{*3}:ソニー製品以外の各社デジタルチューナーにも一部対応しています。 ^{*4}:「野球延長機能」、「番組表予約」、「シリーズ予約」は、機能条件があるのでカタログ等で詳細をご確認ください。



■ 商品についてのURL <http://www.sony.co.jp/cocoon/>

G Interview

株式会社 メガポート放送 インタビュー

BS/110度CSデジタル放送事業者メガポート放送の取締役兼営業部長 門永 達郎 さん。



(株)メガポート放送 取締役営業部長 門永 達郎 さん

■地上波/BSデジタル/110度CSデジタル放送対応Gガイドをご覧になって、どんな印象をお持ちですか？

ひとつは、デジタルになった良さがようやく表われてきたなということです。特に地上波、BSデジタル、110度CSデジタルの全サービスがボタンひとつで簡単に切り替えられる点がとても便利だと思います。それから、ハイビジョンテレビなので番組表の文字が大変見やすくなったというのが特に印象的です。やはり文字の鮮明さや、大きな画面でより多くの情報が一覧できること、特にプラスボタン、マイナスボタンで番組表のチャンネル数を増やしたり減らしたりでき、文字を大きくしたり、小さくしたりできる新しい機能がとても魅力的です。以前の調査で、BSデジタル放送視聴者の8割がEPGを利用しているとの結果がでていましたが、Gガイドでは地上波のEPGも見ることができるので、番組選局はほとんどGガイドでおこなわれるのではないのでしょうか。とにかく非常に便利で魅力的だと思います。

■デジタル放送受信機の普及において、Gガイドが貢献できる部分は何かですか？

ハイビジョンのGガイドということで番組情報、文字情報、および広告情報など全て鮮明に見ることができ、新規及び外付けチューナーからの買換え需要が急速に伸びるのではないのでしょうか。価格もこれからどんどん売れて下がっていくと思いますので、ハイビジョンテレビや、液晶テレビ、プラズマディスプレイという次世代テレビでは画面上で番組をチェックするのが当たり前という時代がGガイドによって始まるのかなと。それから、Gガイドは画面レイアウトがユーザー寄りで洗練されていると思います。次世代EPGというだけあって番組の拡大縮小や検索などとても工夫されているという印象です。特に様々な検索ができるのが特長のひとつですね。出演者で選んだり、キーワードで選んだり検索機能が充実してくると、検索にヒットするような番組情報の作り方がとても大切になります。キーワードの設定ひとつで番組が視聴されるかどうか変わってくるので、番組情報の選定が番組視聴の最大ポイントになってくるかもしれません。また、デジタル放送ではテレビがバージョンアップすることが最大の特色です。Gガイドも時代に応じてどんどん成長していった、使いやすく便利なものになれば、それがまたデジタルテレビの普及を加速させていく。デジタルテレビの普及とGガイドの成長は、車の両輪の役目を果たしていくのではないかと思います。メガポート放送は高機能サービスについて、既に様々なトライアルを行っているのですが、今後はGガイドサービスがあることを想定してサービス展開や編成を組み立てることを考えています。

■放送事業者として、今後のGガイドに期待することは何かですか？

Gガイドの登場でようやく地上波とBSデジタルと110度CSデジタルが同じ土俵で評価されることになります。つまりそれは良い番組が選別されていくということなので、放送局も言い訳ができなくなりますね。Gガイドによって私たちの番組が数多くの人に認知されるよう希望しますし、Gガイドは便利なものなので普及は間違いのないと思いますが、さらなるパワーアップも期待しています。

Inside G

ソニー ホームストレージカンパニーの辻野プレジデントによる今後のテレビライフスタイルについての講演が行われました。

2003年5月19日、電通本社（港区東新橋）で、電通主催の勉強会である「デジタルメディア研究会」が開催され、ソニー株式会社のホームストレージカンパニープレジデント辻野晃一郎氏が「新しいテレビ視聴スタイルの創造」と題した講演を行いました。ソニーが考えるホームネットワークの中核製品として、コクーン<Co Coon>が紹介され、約1時間にわたり実際にコクーンを使ってのデモンストレーションや資料を使って説明などが行われました。会場には放送局と電通などから多数の人が出席され、熱心に講演に聞き入っていました。

*Gガイド画面はイメージです。実際の掲出期間・画面表示と異なる場合がございます。

G Tips

ちょっとした機能紹介

サブジャンル検索

Gガイドでは、テレビ番組をジャンル別に検索する機能がありますが、既存の映画、スポーツ、ドラマ、音楽、バラエティの5ジャンルからさらに細かいジャンル検索が行えるGガイド搭載機種が発売されました。

■SONY CoCoonチャンネルサーバー CSV-P500

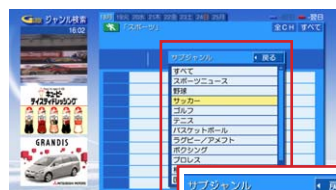
■Panasonic TH-36D30T TH-32D30T

D30Tシリーズ画面



<メイン・ジャンル>

メインジャンルとして最大12項目からの選択が可能。



<サブ・ジャンル>

約100項目に分類されたサブジャンル検索でさらに細かく番組の絞り込みができます。

例えば、メインジャンルからスポーツを選択すると、スポーツに関わるサブジャンル（野球やサッカーなど）が表示されます。



<ジャンル検索結果>

好みのサブジャンルを選択すると、そのサブジャンルに該当する番組検索結果が表示されます。

